

平成27年度 第1回八幡浜市総合教育会議議事録

- 1 日時 平成27年6月12日(金)
開会：午後3時35分 閉会：午後4時25分
- 2 開催場所 八幡浜市役所八幡浜庁舎3階庁議室
- 3 出席者
(構成員) 市長 大城 一郎
教育長 増池 武雄
教育委員長 菊池 誠
教育委員 藤原 大志
教育委員 小野 巖
教育委員 上田 純子
(構成員以外の出席者)
副市長 総務企画部長 総務課長 総務課長補佐
教育指導主幹 学校教育課長 生涯学習課長 学校教育課長補佐

4 議事の経過

開会（進行：総務課長）

市長あいさつ

- ・総合教育会議は、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点施策等について協議調整を行う場であり、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行に当たることが可能になるものと期待をしている。
- ・これまでも教育長、教育委員と機会あるごとに小中学校の統廃合、校舎の耐震化、教育予算などについて、意思疎通を図ってきたが、引き続き教育の充実に向けて、委員とともに取り組みたい。
- ・第1回目であるが、子どもたちの将来のために一番良い教育が何かを踏まえ、新しく立ち上がったこの総合教育会議において議論を行いたい。

議事（進行：大城市長）

(1) 八幡浜市総合教育会議運営要綱について

事務局説明

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定説明

- ・協議事項・会議の構成員・会議の招集・原則公開・議事録作成と公表

八幡浜市総合教育会議運営要綱（案）説明

- ・招集は市長が7日前までに原則通知
- ・会議の定足数は、市長、教育長と2人以上の教育委員会委員の出席が必要。緊急時は、市長と教育長の出席のみでも良い。

- ・傍聴席満員時は傍聴を制限
- ・議事録の掲載内容、市ホームページで公表
- ・平成27年6月12日施行予定

質疑応答

- ・議事録をホームページに公表する場合、発言委員名は原則公表
- ・緊急時で委員を招集できない場合のみ市長・教育長で会議開催

→原案通り承認

(2) 総合教育会議の運営について

(3) 大綱の策定について

事務局一括説明

地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正の4ポイント

①教育長

教育委員会を代表する教育委員長と事務局を統括する教育長を一本化

②教育委員会

新「教育長」の権限が他の教育委員と比べて大きくなった

③総合教育会議の設置

市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場合

会議の構成員は、市長と教育委員会

協議事項

- ・大綱策定に関する協議
- ・教育のための諸条件の整備、地域の実情に応じた教育・学術・文化の振興を図るための施策の協議
- ・児童生徒等の生命・身体に被害が生じるか生ずる恐れがある緊急の場合に講ずべき措置の協議

協議すべきでない事項

- ・教科書採択、教職員の人事など政治的中立性が高い事項

④大綱の策定に関する協議

教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌し、市長と教育委員会との間で十分に協議・調整

質疑応答

- ・子どもの学校教育だけではなく大人の生涯教育といったものも含めた市全体の総合的な教育の会議であることの確認

(4) 大綱作成時期について

事務局説明

第2回会議 11月 大綱素案の協議

第3回会議 1月 大綱策定

質疑応答

- ・総合計画と総合教育会議の大綱は整合性をとる必要がある。

意見交換

藤原委員

教育委員会と市長が相談して色々決められる会議で有意義である。総合計画の情報交換もお願いしたい。

上田委員

平成8年1月に子どもの命が失われるという悲しい事故があり、保護者や地域が子どもたちの命を守ることを真剣に話し合った。総合教育会議では、もう一度原点に立ち、子どもたちの命を守るより住みよい社会作りについて考えていきたい。

増池教育長

八幡浜市でも過去に悲しい事件が起こった話が出ていたが、重大事件に際して、予算的なものを始め、教育長一人では大変である。市長と相談できるこういった場があるのは良いことであり、総合教育会議に期待している。

小野委員

八幡浜市の子どもたちの明るさも年々上向いてきているように実感している。人づくり運動が教育の場でも必要だと思う。これからも一致団結していきたい。

菊池委員

生涯学習を通じた学校教育を考えることで、よりよい方向へ進めると思う。教育委員の先進地視察等で勉強したことを直接市長に話す機会も増えるので、一緒に考えながら、まず、子どもたちのよりよい教育環境を目指して進んでいきたい。

大城市長

命の大切さ、子どもたちが人の心の痛みが分かる教育が必要だと思っている。スポーツ、文化の力が弱くなっていると感じる。スポーツに関しては、当市には日本を代表するマウンテンバイクコースがあるが、小中学生が1回でもコースを走ったことがあれば、将来八幡浜からオリンピック選手が出ることもあるかもしれない。文化行政に関しても日本舞踊、絵画教室等高齢化が目立つ中、子どもたちをどう育成していくか、市自体がどうかかわっていけるのか、皆さんと幅広く話していきたい。

閉会